# 6505®

## チューブギターアンプ オーナーズマニュアル

他の Peavey 製品の情報については、最寄の Peavey ディーラーに問い合わせるか、www.peavey.com をご覧ください。

人体への電気ショックの危険が考えられる製品筐体内の非絶縁「危険電圧」の存在をユーザーに警告す るものです。

製品に付属している説明書に記載の重要な操作およびメンテナンス(サービス)要領の存在をユーザーに警告するものです。

注意: 電気ショックの危険あり — 開けないでください!

注意: 電気ショックの危険を低減するため、カバーを外さないでください。内部部品はユーザーによるサービス不可。資格のあるサービス要因のサービスを要請してください。

警告:電気ショックまたは火災の危険を避けるため、この装置を雨または湿気にさらしてはなりません。ま た、過敏など液体を含む物をこの装置上に置いてはなりません。この装置を使用する前に、警告事項につ いて操作ガイドをお読みください。

# 安全のための重要事項

**警告:** 電気製品を使用するときは、次の項目を含め、基本的な注意事項を常にお守りください。

1. 本書の指示内容をお読みください。
2. 本書は保管してください。
3. すべての警告に注意してください。
4. すべての指示に従ってください。
5. 本装置を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れには乾いた布をお使いください。
7. 開口部をふさがないでください。メーカーの指示に従って設置してください。
8. ラジエータ、ストーブなど (アンプを含む)、発熱体の近くに設置しないでください。
9. 分極プラグや接地プラグの安全性を損なわないようにしてください。分極プラグの2つのブレードは、一方が他より幅広くなっています。接地式のプラグには2つのブレードと接地プラグがあります。幅広のブレードや接地プラグは安全のために付けられています。所定のプラグがコンセントなどに合わない場合、旧式のコンセントなどの交換について技術者に問い合わせてください。
10. 電源コードを踏んだり挟んだりしないように保護してください。特にプラグ、コンセント、装置から出る部分を保護してください。
11. 備品/付属品はメーカーのものを使用してください。
12. カート、スタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、メーカー指定のもの、または装置とともに販売されているもの使用してください。カートを使用するときは、カートと装置を動かしたときに横転などでケガをしないよう注意してください。
13. 落雷の恐れのある嵐のとき、または長期間使用しないときは本装置の電源を外してください。
14. 保守作業はすべて資格のあるサービス担当者に依頼してください。保守作業が必要になるのは、装置が故障した場合、たとえば、電源コードやプラグが破損、装置に液体がかかる。物が落ちる、雨など湿度の影響を受ける、正常に動作しない、落下した場合などです。
15. グランドピン(接地ピン)は決して取り外さないでください。フリーブックレット「感電と接地」を入手してください。装置の電源コードの横に記載されているタイプの電源にのみ接続してください。
16. 本製品をラックに載せる場合は、背面を支持するものが必要です。
17. Note for UK only: If the colors of the wires in the mains lead of this unit do not correspond with the terminals in your plug, proceed as follows: a) The wire that is colored green and yellow must be connected to the terminal that is marked by the letter E, the earth symbol, colored green or colored green and yellow. b) The wire that is colored blue must be connected to the terminal that is marked with the letter N or the color black. c) The wire that is colored brown must be connected to the terminal that is marked with the letter L or the color red.
18. 電気機器に水がかからないようにしてください。花瓶など液体の入ったものを装置に置かないように注意してください。
19. オン/オフスイッチは、主電源のどちらの側も切断しません。オン/オフスイッチがオフ位置のとき、シャシー内部のエネルギー(高電圧)は危険なレベルにあります。主電源プラグまたは機器のカプラが切断装置になっています。切断装置はすぐに動作し使用できる状態にしておく必要があります。
20. 極めて高い騒音レベルは聴覚を永久に損なう原因になることがあります。騒音による聴覚障害の可能性は人によって異なりますが、十分に高い騒音を十分長い時間浴びた場合には、ほぼすべての人が何らかの障害を被ります。米国労働安全衛生庁 (OSHA) は、許容できるノイズレベル(騒音暴露レベル)を次のように定めています。

| 1日当たりの時間 | サウンドレベルdBA、スローレスポンス |
|---|---|
| 8 | 90 |
| 6 | 92 |
| 4 | 95 |
| 3 | 97 |
| 2 | 100 |
| 1½ | 102 |
| 1 | 105 |
| ½ | 110 |
| 1/4 以下 | 115 |

OSHAによると、上記許容限度を超える場合は聴覚障害の原因になります。騒音が上記限度を超える場合は、永久的な聴覚障害を避けるため、このアンプシステムの操作時に、外耳道または耳全体にイヤプラグやプロテクタを装着する必要があります。高音圧レベルによる危険な状態を避けるため、このアンプシステムのような高音圧レベルを出力する機器に触れる人はすべて、本機を使用中はプロテクタにより聴覚を保護することをおすすめします。

## 本書は保管してください!

# 日本語

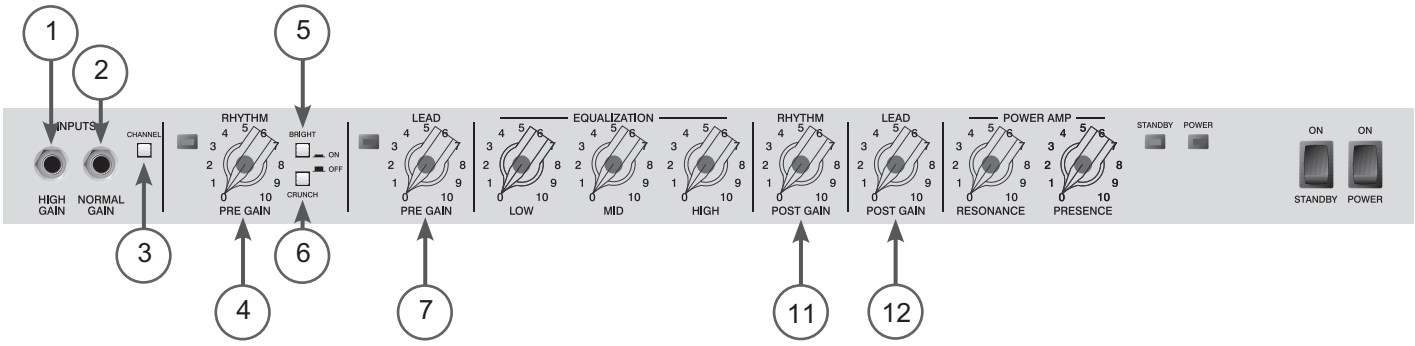
## 6505®
### チューブギターアンプ

Peavey 6505 ギターアンプをお買い上げいただきありがとうございます。6505 シリーズアンプは、5つの12AX7 プリアンプチューブ、4つの6L6GC パワーアンプチューブ、プレゼンス、レゾナンスコントロール、3バンド EQ を備え、それぞれのトーンを管理します。これらの機能と、標準ウルトラハイゲインプリアンプ機能、強力な120 W パワー部の組み合わせから生まれるアンプは、ステージプレゼンスに優れ、どのようなギグにも十分なボリュームを提供します。柔軟性を最大にするため、フットスイッチ対応エフェクトループ、プリアンプ出力、ブライト/クランチボイシングスイッチ (リズムチャンネル) も追加されています。6505 は、独自設計と際立つトーンにより、それ自体が1つのカテゴリと言えます。

**特徴**

- **120 ワット RMS - 16、8、4オーム (切り替え可能)**
- **5つの12AX7 プリアンプチューブ & 4つの6L6GC パワーアンプチューブ**
- **ハイ&ローゲイン入力**
- **2チャンネルプリアンプをフロントパネルまたはフットスイッチで切り替え可能**
- **リズムチャンネル:プリ/ポストゲイン、ブライト&クランチスイッチ**
- **リードチャンネル:プリ/ポストゲイン**
- **3バンド EQ をチャンネルで共有**
- **プレゼンス&レゾナンスコントロール**
- **切り替え可能なポスト EQ エフェクトループ**
- **プリアンプ出力**
- **フットスイッチ付属**

## トップパネル




### Inputs (1, 2)

6505 の入力ブロックは HIGH [1]、NORMAL [2] GAIN 入力を備えています。HIGH GAIN 入力は NORMAL GAIN 入力のゲインの2倍。オーバードライブを最大にしたいとき使用します。両方の入力を同時に使用すると、6505 は自動的にノーマルゲインモード (6 dB パッド) に切り替わります。アンプのオーバードライブがピークになる場合、両方の入力を同時に使用する状況は避けてください (両方の入力を使い、ステージで2つのギターを持ち替えるなど)。ギター/ピックアップをそれぞれの入力につないで試してみると、どちらの入力がよいかわかるようになります。

### Channel セレクトスイッチ (3)

RHYTHM または LEAD チャンネルを選択します。スイッチを "イン" 位置にすると LEAD チャンネルが有効になります。赤色 LED ランプが点灯すると LEAD チャンネルが有効です。"アウト" 位置では RHYTHM チャンネルが有効になり、緑色 LED が点灯します。チャンネルは 6505 フットスイッチで選択できます。リモートで選択する場合、チャンネル選択スイッチは "イン" 位置 (LEAD チャンネル) にセットする必要があります。

### Rhythm Pre & Post Gain (4, 11)

RHYTHM チャンネル PRE [4]、POST GAIN [11] の動作は LEAD チャンネルゲインコントロールと同じです。ほとんどの場合、RHYTHM チャンネルをセットするには、PRE GAIN を低い、"よりクリーンな" 設定 (0-4) にし、POST GAIN を全体のボリュームにセットします。RHYTHM チャンネルは、CRUNCH SWITCH [6] を有効にすることによって第2チャンネルにすることができます。

### Bright スイッチ (5)

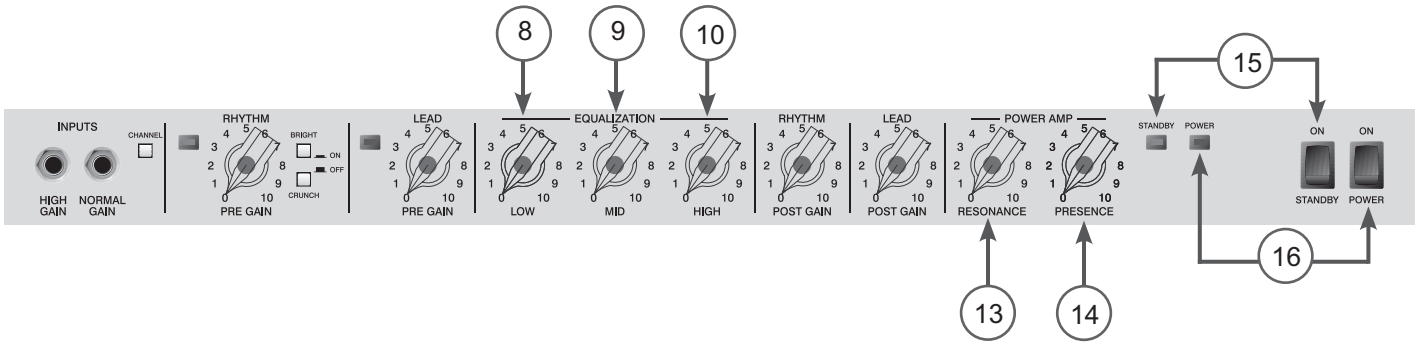
トレブル周波数 (6 dB / 2 kHz) のプリセットブーストを有効にします。リズムチャンネルに対してのみ有効です。

### Crunch セレクトスイッチ (6)

rhythm チャンネルのゲインをブーストして第2 "lead"チャンネルを作ります。"イン" 位置にして有効にします。

### Lead Pre & Post Gain (7, 12)

LEAD CHANNEL PRE GAIN [7] は、入力レベルをコントロールし、LEAD CHANNEL POST GAIN [12] と連係して LEAD チャンネル全体のボリューム/オーバードライブを設定します。PRE GAIN コントロールを低く設定すると、比較的クリーンな、歪みの少ないサウンドになり、高く設定すると、歪みの高調波成分が豊富になり、スクリーミングオーバードライブ/サステインが得られます。PRE、POST GAIN どちらのコントロールも "コンボ" で動作するので、設定の基本は、両方のコントロールで低い設定 (0-2) から始めることです。PRE GAIN コントロールを使い、LEAD チャンネルのオーバードライブ/サステインを調節します。次に POST GAIN コントロールで全体のボリュームを調節します。




**Equalization (8, 9, 10)**

6505 equalization ブロックの特徴は、6505サウンドにカスタム調整されたパッシブLOW、MID、HIGH EQ にあります。

**Resonance & Presence (13, 14)**

6505 固有の RESONANCE [13] コントロールは、スピーカーキャビネットの共振/減衰ポイントで、パワーアンプのゲインを低周波でブーストするようにセットできます。簡単に言えば、RESONANCE コントロールは EQ のように働き、ローエンド周波数ドロップアウトを補正します。PRESENCE [14] コントロールも同じように働き、高周波をブーストします。好みを考えながらスピーカーキャビネットを試してみると、これら重要なコントロールをどのように設定すればいいかわかるようになります。

**Standby スイッチ (15)**

このスイッチは 6505 を動作しないスタンバイモードにします。この standby スイッチが有効なとき、チューブは暖かいままで、すぐに動作する状態なので、ウォームアップ時間がかかりません。アンプが動作モードのときは STANDBY LED インジケータランプが点灯します。

**Power スイッチ (16)**

本体に電源を供給するスイッチです。"オン" 位置にすると、電源が本体に供給され、POWER LED インジケータランプが点灯します。

## リアパネル

**Fuse (17)**

ヒューズホールダのキャップ内に5 アンペア fuse があります。機器の破損を避け、また、保証が無効になるのを防ぐため、同じタイプ、同じ値のものと交換する必要があります。アンプによって fuse が繰り返し切れる場合は、指定サービスセンターに修理を依頼してください。

**警告:** 電源からコードを外してから fuse を交換してください。

**電源コード (120 V ユニットのみ) (18)**

当社は、安全のため、適切な接地機能のある3線ライン (主電源) ケーブルを採用しています。グランドピンはどんな場合でも取り外さないようにしてください。適切な接地機能のない状態で 6505 を使用する必要がある場合は、適切な接地アダプタを使用してください。適切な接地コンセントで本体を使用すれば、感電の危険は大幅に減少します。

**Ground スイッチ (19)**

3ポジションのロッカースイッチです。ほとんどの場合、中央の (ゼロ) 位置で使用します。グランドスイッチを中央にセットした状態でスピーカー外装（エンクロージャ）からハムやノイズがある場合は、グランドスイッチを正負 (+ または -) いずれかにセットしてハムを小さくします。ハム/ノイズが解決しない場合は、最寄りの Peavey ディーラー、Peavey 工場、または指定サービス技術者にお問い合わせください。

**注:** ground スイッチは 220/240 ボルトモデルでは機能しません。

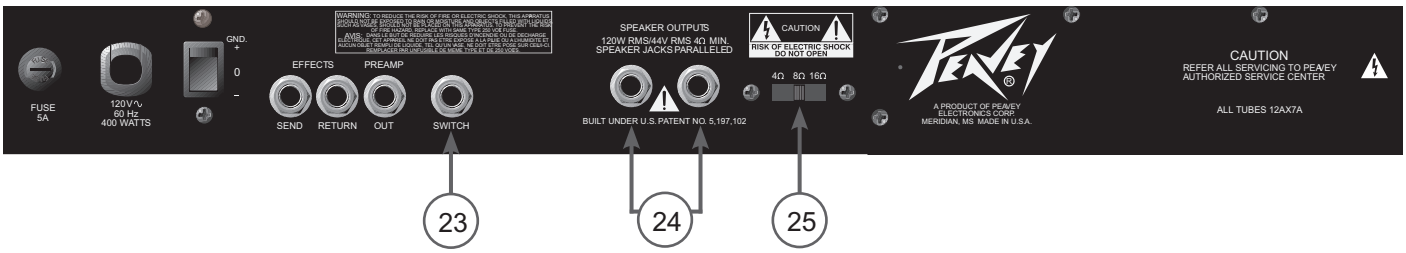
**Effects Send/Effects Return (20, 21)**

信号は、1/4″ フォノジャックのシールドケーブルを使い、EFFECTS SEND [20] 出力から アウトボードユニットにパッチし、EFFECTS RETURN [21] 入力に戻すことで、アウトボードエフェクトや信号処理のユニットに送られます。エフェクトループにはノーゲインのエフェクトデバイス (コーラス、リバーブ、ディレイなど) のみ使用します。エフェクトデバイスのリモート (オン/オフ) 選択は、6505 フットスイッチから行えます。

**Preamp Out (22)**

シールドケーブルを使い、プリアンプ信号を 6505 からミキシングコンソールなどへ送るとき、この出力を使用できます。PREAMP OUT からのパッチは、アンプの通常の動作に影響を与えません。

## リアパネル




**リモートフットスイッチジャック (23)**

付属のリモートフットスイッチを接続するジャックです。フットスイッチをリモートフットスイッチジャックに接続したとき、リモート選択を有効にするには、Channel セレクトスイッチ [3] を押して "イン" 位置にする必要があります。LEAD あるいは RHYTHM チャンネル (左フットスイッチボタン) またはエフェクトループのアウトボードデバイス (右フットスイッチボタン) は、リモートフットスイッチでリモート選択できます。

**スピーカー出力 (24)**

スピーカーエンクロージャをアンプに接続するパラレル 1/4" 出力ジャック (最小:4 オーム) です。エンクロージャが2つ以上の場合、合計インピーダンスを計算し、その値に応じて Impedance スイッチ [25] を設定してください。(IMPEDANCE スイッチのセクションを参照)。

**重要:** スピーカーの接続には、高品質の非シールドケーブルを使用します。

**インピーダンスセレクタスイッチ (25)**

スピーカーエンクロージャのインピーダンスを選択します。インピーダンスが同じエンクロージャを2つ使用するときは、その値の2分の 1 のインピーダンスにスイッチをセットします (たとえば16 オームのエンクロージャ2つならスイッチを 8 オームに、8 オームエンクロージャ2つならスイッチを4 オームにセットします)。

## スピーカーの接続

アンプをスピーカーのエンクロージャに接続する際は、本体背面のインピーダンスセレクタスイッチをエンクロージャに合わせて設定してください。インピーダンスが同じエンクロージャを2つ使用する場合、一方のインピーダンスの2分の1にスイッチをセットします ([25] インピーダンスセレクタスイッチを参照)。6505 は最小 4オームで動作するように設計されています。

# 6505™
# チューブギターアンプ
## 仕様

### *パワーアンプセクション*

**定格出力、負荷:**

120 W RMS - 16、8、4オーム

**出力 @ クリッピング:**

(通常 @ 5% THD、1 kHz、120 V AC 電源)
130 W RMS - 16、8、4オーム
(バイアス低減測定)

**周波数応答:**

+0、-3 dB、50 Hz - 20 kHz、@ 100 W RMS - 8 オーム

**ハム & ノイズ:**

75 dB 以上、定格出力未満

**パワーアンプ EQ:**

アクティブプレゼンス: +10 dB @ 2 kHz
アクティブレゾナンス:+ 10 dB @ キャビネット共振周波数

**消費電力:**

400 ワット 50/60 Hz、120 V AC (出荷元)

### *プリアンプ部:*

次の仕様は @ 1 kHz、コントロールを次のようにプリセットして測定したものです。
ロー & ハイ EQ @ 10
ミッド EQ @ 0
ブライト出力
リード & リズムポスト @ 10
プレゼンス & レゾナンス @ 0 dB
公称レベル、プリゲイン @ 5
最小レベル、プリゲイン @ 10

**プリアンプハイゲイン入力:**

インピーダンス:ベリーハイZ、470K オーム

**リードチャンネル:**

(チャンネルセレクトイン)
公称入力レベル: -80 dBV, .1 mV RMS
最小入力レベル: -92 dBV, .025 mV RMS

**クリーンチャンネル:**

(チャンネルセレクトアウト)
公称入力レベル: -34 dBV, 20 mV RMS
最小入力レベル: -50 dBV, 3 mV RMS
最大入力レベル: 0 dBV, 1.0 V RMS
(クランチスイッチインで 16 dB マイナス)

# 6505®
# *チューブギターアンプ*
## 仕様

**プリアンプローゲイン入力:**
**(-6 dB パッド):**
インピーダンス:ハイZ、44K オーム
全レベル +6 dB単位で増加

**エフェクトセンド:**
負荷インピーダンス:47K オーム以上
公称出力: -10 dBV, 300 mV RMS

**エフェクトリターン:**
インピーダンス:ベリーハイZ、470K オーム
設計レベル: -10 dBV, 300 mV RMS

**プリアンプ出力:**
負荷インピーダンス:47K オーム以上
公称出力: +10 dBV, 3 V RMS

**リモートフットスイッチ:**
LED インジケータ付き専用2 ボタンユニット (付属)
チャンネルセレクト & エフェクトループバイパス

**システムハム & ノイズ @ 公称レベル:**
**(クリーンチャンネル):**
(20 Hz - 20 kHz ウェイトなし)
74 dB 以上、定格出力未満

**イコライゼーション:**
カスタムロー、ミッド & ハイ パッシブタイプ EQ プッシュブライト (リズムチャンネルのみ)
+6 dB @ 2 kHz
プッシュクランチ (リズムチャンネルのみ) ゲイン増加

**寸法:**
10″ (H) x 26.625″ (W) x 11.75″ (D)
254 mm x 676.275 mm x 756.92 mm

**重量:**
48.3 lbs. (21.9 kg)

メモ:

Ippinkan Corporation
Musical Instruments Division
株式会社 逸品館
〒223-0052 神奈川県横浜市港北区綱島東6-8-20
Tel : 045-633-7530  Fax : 045-633-7531
E-mail : ippinkan.mi@otoiawase.jp
Web : http://peavey.jp/